

土木被害関係等報告

県土整備部

施設区分	6月17日16:00現在
道路	<p>全面通行止め 6路線9区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道342号:一関市巖美町天王～秋田県境(土砂崩落、落橋-祭時大橋) 白崖地区復旧工事中、祭時地区迂回路調査中、祭時～県境詳細調査中 ・国道397号:奥州市胆沢区若柳字市野々原～秋田県境(法面崩壊) 胆沢トンネル西側土砂撤去中(胆沢ダム) ・主要地方道花巻衣川線:奥州市衣川区大平(法面崩壊) 専門家に調査を依頼予定 ・主要地方道栗駒衣川線:奥州市衣川区餅転橋(路面損傷) 測量調査中 ・一般県道衣川水沢線:奥州市胆沢区大袋(路面陥没) 片側交互通行に向け工事着手 ・主要地方道花巻衣川線:奥州市胆沢区下鹿合(路面損傷) 片側交互通行に向け工事着手 ・主要地方道花巻衣川線:奥州市衣川区小田(路面損傷) 片側交互通行に向け工事中 ・主要地方道栗駒衣川線:奥州市衣川区榎原新橋(路面陥没) 交通開放に向け工事着手 ・主要地方道盛岡横手線:雫石町南畑～西和賀町沢内川舟(土砂崩落) 法面調査中 <p>片側交互通行 3路線3区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道107号:西和賀町ゆだ高原駅付近(路面沈下) ・一般県道夏油温泉江釣子線北上市和賀町内鱒沢(法面崩壊) ・主要地方道花巻衣川線:金ヶ崎町永栄中山(路面損傷)
河川	<p>県管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胆沢川(五松林橋上流左岸):堤防天端にクラック有り。L=50m、W=1.5cm、深さ15cm。 ・磐井川:斜面崩壊により河道内に土砂流入(2箇所)。2箇所とも水位の上昇がみられないことを確認。 ・久保川:小規模な土砂崩落があり。堤防に一部クラック発生。 ・尿前川(しとまえがわ):斜面崩落2箇所確認。 <p>県管理外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣川支川有浦沢川(上衣川有浦地区):土砂崩落により河川閉塞。(L=30m、W=3-4m) 仮排水路を設置済。(奥州市管理普通河川) ・磐井川上流に斜面崩壊4箇所を確認。そのうち市野々原地区については、河川閉塞し、水位の上昇を確認。県が国土交通省に16日10時に要請(応急排水対策及び河道内の土砂撤去等) - 市野々原地区は、県管理河川から県管理外に変更
砂防	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点での砂防えん堤の被害報告なし。(現在調査中) ・衣川地区で地すべりの報告を受けて調査。表層崩落により今後対応策検討、自主避難4戸18名。 ・TEC-FORCE、砂防ボランティア、県の合計61名が、土砂災害の危険箇所を緊急点検。箇所数は92箇所。 結果:危険度A(要検討)5箇所、危険度B(要詳細調査)10箇所 ・国土交通省では、17日13時に記者会見し、市野々原地区の天然ダム(河道埋塞)箇所における直轄砂防災害関連緊急事業の実施を発表、事業費-10.7億円 ・県は、市野々原地区に通じる重機運搬路を17日中に概成。当該地区への資材の搬入が可能となる。15時にバックホー2台、照明車が現地入り。 ・水田50haが水が引いている状況を確認。
都市公園	<p>奥州市管理</p> <p>水沢公園、見分森公園、北野公園、久保公園、高台公園一部被害あり、被害状況調査中。</p>

施設区分	6月17日16:00現在
住宅	<p>一般住宅(被災建築物応急危険度判定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15日14時30分 - 県庁に、被災建築物応急危険度判定支援本部を設置。 一関市:15日、16日 - 巖美町市野々原地区、祭時地区において、被災建築物応急危険度判定のための事前調査を実施。 17日 - 市野々原地区、祭時地区を含む巖美町地区で、県及び市が被災建築物応急危険度判定活動を実施中。 <ul style="list-style-type: none"> ・判定体制: 県2名、盛岡市2名、花巻市1名、北上市1名の計6名(3班体制) ・判定予定棟数:43棟 <p>奥州市:16日 - 県2名と奥州市4名の計6名(2班体制)により、胆沢区、衣川区において被災建築物応急危険度判定活動を実施。</p> <p>16日の判定結果:調査棟数33棟中、危険住宅5棟、要注意住宅17棟、使用可能11棟。</p> <p>17日9時45分から奥州市4名(2班体制)により、胆沢区において被災建築物応急危険度判定活動を実施中。</p> <p>(判定予定棟数:約30棟)</p> <p>18日~20日にかけて、これまでの判定結果をふまえ、胆沢区、衣川区の広範な地域で約800棟を対象に、県・市の他、新たに 岩手県建築士会・ 岩手県建築住宅センターの協力も得て、被災建築物応急危険度判定活動を行う予定。</p> <p>西和賀町:16日、県職員3名(1班体制)により、川尻地区、白木野地区において被災建築物応急危険度判定活動を実施。</p> <p>16日の判定結果:調査戸数2戸中、要注意2件</p> <p>応急仮設住宅等被災者のための住宅対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥州市:15日19時30分時点 - 応急仮設住宅の建設の必要無し。 ・一関市:17日15時時点 - 避難世帯の聞き取り調査を行い、応急仮設住宅の建設の必要性を検討中。 ・一関市から、被災者が希望する場合の県営住宅への入居について県に要請あり。 <p>被災宅地危険度判定(建築物の判定と併せ宅地の調査を行うもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関市:17日 県1名及び市3名の計4名の職員で実施中。 奥州市:現在市からの派遣要請は無いが、今後の調査等により、必要が生じた場合は対応したい。 西和賀町:町から要請あり。18日に県職員3名で実施することとし、準備中。

国・市町村の情報は、当部で把握しているもののみ掲載

磐井川 市野々原地区 河道閉塞状況写真

6 / 14 状況



6 / 15 状況



6 / 17 状況



砂防ダムの様子から、徐々に水位が上昇していると判断される。